

危険！！



「松戸さん ㊄」

二酸化炭素消火設備の誤放出事故

保守点検の作業中に、二酸化炭素消火設備の誤操作や誤作動による死傷者を出す事故が発生しています。

建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項にご注意ください。

1 工事・メンテナンス時

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンス等を行う場合に誤作動や誤放出を防ぐために

- 工事を開始する時は、閉止弁を閉止する。
- 二酸化炭素消火設備に熟知した消防設備士や消防設備点検資格者を立ち合わせる。
- 昭和 49 年以前に設置された二酸化炭素消火設備については、消火設備メーカー等に安全対策等を確認した上で行う。
- 関係者以外の者が出入りしないように管理する。

2 建物利用者への周知

防火管理者や自衛消防隊員、二酸化炭素消火設備設置場所の利用者等に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法等について周知する。

3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、すぐに119番通報をして、放出場所を立入禁止にする。

二酸化炭素消火設備のQ&A

二酸化炭素消火設備は、どんな所に設置されているの？

二酸化炭素消火設備のメリットとして、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機械室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

二酸化炭素消火設備の人体への影響は？

消火剤である二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。